

第6回検討委員会の内容

1月から2月にかけて再編校別小委員会が開催されたので検討した内容を報告しました。
通学区域の一部変更については、地域の要望に沿う方向とし、今後変更を前提とした通学安全対策を各小委員会で検討します。検討対象外の学校に係わる学区変更については引き続き調整することになりました。
跡施設の活用については、次回も検討します。



第6回検討委員会:平成17年3月7日(月):栄区役所

1 再編校別小委員会からの報告

「公田小+桂台小」第1回小委員会 (座長) 梅津 三彌氏
・統合時期は未定であるが、検討委員会において両校の統合を実施することは決まっているので、他の再編の組み合わせと同様、必要なことは決めていくこととする。

<新学校名>

・両校が持ち寄る案をもとに小委員会で校名案をいくつか絞る。 の校名案を候補(候補以外の校名の記入も可)として保護者、地域にアンケートを実施する。 アンケート結果を参考に小委員会で校名を選定する。また、アンケートの実施は統合時期がみえてきた段階でこの手法を取り入れて行うこととする。

<通学安全>

・公田小から桂台小に向かう公田小下からのルートは、歩道が途切れ危険である。別のルートや方法を考えなければならないと思うが、この問題については、教育委員会だけで解決できることではない。道路局や区役所など全庁的に取り組んでいかなければならない問題だと思う。

小委員会委員(敬称略) 座長

鈴木 勇 (桂台団地自治会会長)
梅津 三彌 (湘南桂台自治会会長)
白石 京子 (民生・主任児童委員)
広澤 裕子 (公田小PTA会長)
山本 克子 (桂台小PTA副会長)
若林 健一 (公田小学校長)

小委員会委員のみ

中禮 数則 (桂台小学校長)
甲斐 孝昭 (桂台中学校長)
松本 昌司 (朝日平和台自治会会長)
西田 信吉 (湘南ハイツ自治会会長)
佐野 直美 (公田ハイツ自治会会長)
草薨由美子 (公田小PTA)
白水 嘉子 (桂台小PTA)

「野七里小+上郷南小」第1回小委員会 (座長) 北條 祐勝氏

<新学校名>

・学校長、座長から現校名の由来についての説明があった。
・PTAで候補名のアンケートを実施し、その結果をもとに候補名を絞ったうえで保護者、地域(全戸)にアンケートを実施する。アンケートには候補名以外の校名案の記入も可とする。アンケート結果を参考に次回小委員会で校名案を選定する。

(小委員会終了後、PTAアンケートの結果をもとに座長、事務局で候補名を選定(庄戸小、庄戸の森小、庄戸の丘小)し、アンケートを実施した(2月24日))

<通学安全>

・神戸橋ルートは小学生には危険であるとの指摘があった。
・野七里小PTAが通学路として検証した3つのルートについて報告した。
・子どもたちの安全は、まち全体で取り組んでいかなければならない部分もある。(歩道にはみ出している植木の伐採、歩道での自転車走行の禁止、防犯パトロールなど)
・通学問題については、距離が長いとか体力的に厳しいかどうかということより児童の安全確保を第一に検討していく。
・次回小委員会は校名案の選定と通学安全について検討する。

小委員会委員(敬称略) 座長

三浦 祐俊 (シニアクラブ連合会会長)
角田 正一 (上郷町内会副会長)
坂本アヤ子 (民生・児童委員協議会会長)
北條 祐勝 (保護司・学識経験者)
山本真由美 (野七里小PTA会長)
角田 厚子 (上郷南小PTA会長)

小委員会委員のみ

阿部 述夫 (野七里小学校長)
小島 光子 (上郷南小学校長)
渡辺 光 (庄戸中学校長)
久保田長吉 (みどりが丘自治会会長)
斎藤 昇 (上郷ネオポリス自治会副会長)
沢 喜美江 (野七里小PTA副会長)
森 麻紀 (上郷南小PTA・H17年度会長)

「矢沢小+犬山小」第1回小委員会 (座長) 武田 輝明氏

<新学校名>

- ・学校長、座長から現校名の由来についての説明があった。
- ・次の点に配慮して候補名の選定について話し合った。
新しい学校をつくっていく観点から、現在の校名(一部を含む)は使用しない。
横浜市内に既に存在するまたは類似した名称は使用しない。
名前を聞いておおよその場所が想像できるものとする。

その結果、候補名を上郷小・さかえ小・栄第一小とし、保護者、地域にアンケートを実施した。

<通学安全>

- ・平成18年度：環状4号線沿いに居住する児童の通学については、仮移転先の矢沢小との間をスクールバスの運行または路線バス使用の際の定期代補助の要望が挙げられた。
- ・平成19年度以降：登校時の車両一方通行要望(犬山小・上郷中前の道路)、横断歩道の設置及び車両の一時停止標示(西ヶ谷ハイツ、西ヶ谷団地方面)が挙げられた。
- ・次回小委員会は校名案の選定と通学安全について検討する。

小委員会委員(敬称略) 座長

黒木さち子(犬山町会副会長)
武田 輝明(青少年指導員協議会会長)
宗高 久友(上之町内会会長)
細田 利明(フローラ桂台自治会副会長)
益田 京子(矢沢小PTA会長)
石川 弥生(犬山小PTA会長)

小委員会委員のみ

上原 優子(矢沢小学校長)
酒井 勲(犬山小学校長)
相澤 陽子(上郷中学校長)
中村 義行(尾月自治会会長)
角田小百合(西ヶ谷団地自治会会長)
佐藤 智子(矢沢小PTA校外副委員長)
藤沢 里香(犬山小PTA校外委員長)

2 通学区域の一部変更について



上郷西ヶ谷ハイツ自治会、上郷西ヶ谷団地自治会、ライオンズマンション港南台南管理組合、港南台コートハウス自治会及び湘南桂台自治会より出された学区変更要望に基づき、変更案(2-1)を提示しました。

学区変更 しない場合	公田小+桂台小					矢沢小+犬山小					野七里小+上郷南小												
	年度	18	19	20	21	22	年度	18	19	20	21	22	年度	18	19	20	21	22					
児童数	587	581	586	562	545	児童数	404	399	396	399	381	児童数	473	490	493	509	493						
学級数	18	18	18	17	17	学級数	12	12	12	12	12	学級数	13	14	15	16	15						
学区変更 する場合	桂台小					上郷西ヶ谷ハイツ・上郷西ヶ谷団地 児童100・幼児151 ライオンズマンション港南台南 児童 21・幼児 16 港南台コートハウス 児童 14・幼児 13																	
	年度	18	19	20	21	22	湘南桂台を受け入れた場合					「野七里小+上郷南小」から 「矢沢小+犬山小」に変更											
児童数	318	309	315	297	284	児童数	352	348	363	350	336	児童数	551	549	552	568	543	児童数	320	331	325	325	313
学級数	12	12	12	11	11	学級数	12	12	12	12	12	学級数	17	17	17	17	16	学級数	12	12	12	12	12
					湘南桂台 児童31・幼児52																		
					「矢沢小+犬山小」から 「公田小+桂台小」に変更																		
年度	18	19	20	21	22	年度	18	19	20	21	22	年度	18	19	20	21	22						
児童数	631	620	634	614	596	児童数	506	504	509	519	503	児童数	320	331	325	325	313						
学級数	18	18	18	18	18	学級数	16	16	17	17	16	学級数	12	12	12	12	12						
★ 学区の一部変更実施時期について					★ 再編施設の教室数について																		
西ヶ谷ハイツ等:「矢沢小+犬山小」再編実施時期と同じH18年4月とする					犬山小:大規模改修工事のなかで、必要数を確保する予定																		
湘南桂台:「公田小+桂台小」の実施時期は未定だが、「桂台小の教室数上郷南小:20教室保有(必要数を確保した上で一部改修予定)					桂台小:24教室保有(必要数を確保した上で一部改修予定)																		
に余裕があるためH18年4月とする。																							

< 意見 >

- ・小学校の学区変更を検討する場合、中学校との関係で考えると、小・中9年間を通して同じ人間関係が続くより、ミックスされた方がよいと思うので、小学校の学区は変更しても中学校の学区は現状のままでよいと思う。
- ・小学校の学区が変更された場合、元の学区の指定校に通学したい場合は認めてもらえるのか。
- ・在校生については、特別な事情なので変更前の学校にも就学できるようにしたい。新1年生からは、変更後の指定校に通学することが原則だが、兄弟姉妹関係は考慮し指定地区外就学許可制度により同じ学校に就学することができます。（事務局）
- ・学区が決まっていないと、小委員会でこれから通学安全を検討していくにあたって不都合が出る場合もあると思うので、変更案2-1について検討委員会として意思表示をしたほうがよい。
- ・要望書がきちんと出ているし、受入校についても適正規模の範囲内で収まるので、この変更案に沿って方向性を出していただくことでいかがでしょうか。（事務局）
- ・小委員会としても、この変更要望に基づいて検討していきたいと考えている。
- ・18年度に矢沢小に通学する場合、尾月、亀井町方面の児童が桜井小、本郷小に通学することは可能か。
- ・検討対象校外の桜井小、本郷小への学区変更は、受入の問題もあるので、スクールバスまたは路線バス使用での対応等を検討していきたい。
- ・矢沢小の親校は桂台小であったので、「矢沢小+犬山小」で統合ならば矢沢小に通学している湘南桂台自治会の子どもは元に戻し、学区によって分断されている状態を解消したい。自治会として統一して行事などを行いたい、今のままでは連合町内会も異なるので難しい面がある。ただ、個人的な事情により「矢沢小+犬山小」に通学したい場合は考慮していただきたい。

変更案2-1については、要望に沿って通学区域の変更をすることが確認されました。

朝日平和台自治会からの学区変更要望に基づき、下記の内容(2-2)を提示しました。

学区変更 し ない 場合	公田小+桂台小						本郷小						
	年度	18	19	20	21		22	年度	18	19	20	21	22
児童数	587	581	586	562	545		児童数	597	620	619	642	645	
学級数	18	18	18	17	17		学級数	18	18	18	19	19	
学区 変更 す る 場 合	年度	18	19	20	21	22	朝日平和台自治会 児童34・幼児41	年度	18	19	20	21	22
	児童数	548	543	543	523	504		児童数	636	658	662	681	685
	学級数	17	17	17	16	15		学級数	18	18	18	19	19
	年度	18	19	20	21	22	本郷中全域 児童83・幼児109	年度	18	19	20	21	22
児童数	494	484	481	459	436	児童数		688	714	720	740	748	
学級数	18	18	18	17	17	学級数		20	21	21	21	22	
	年度	18	19	20	21	22	湘南桂台自治会 児童40・幼児52 朝日平和台自治会	年度	18	19	20	21	22
児童数	582	582	591	576	556	児童数		636	658	662	681	685	
学級数	18	18	18	18	18	学級数		18	18	18	19	19	
	年度	18	19	20	21	22	湘南桂台を編入 本郷中区域を本郷小	★ 本郷小の保有教室数:18教室 ★ 特別教室改造により最大で 21教室は可能か?					
児童数	528	523	529	512	488								
学級数	17	17	17	16	15								
	年度	18	19	20	21	22	本郷中全域	年度	18	19	20	21	22
児童数	265	266	263	255	249	児童数		173	171	161	156	145	
学級数	12	12	11	10	9	学級数		6	6	6	6	6	

< 意見 >

- ・「公田小+桂台小」の統合時期は決まっていないが、統合場所となった「桂台小」に1年生から入学できるか。また、今後、何年は再編なし、何年後以降再度検討する等具体的な報告がほしい。他校に入学してしまうのでその対策を立ててほしい。
- ・本郷小への学区変更要望は朝日平和台自治会からは出されているが、その他の本郷中区域の方が全員本郷小を希望しているかどうかはわかりません。朝日平和台だけを本郷小へ通学区域を変更すると飛び学区になってしまうので、資料2-2は本郷中区域の方が全員本郷小への学区変更を希望しているという想定で作成してみました。この場合、本郷小の保有教室数を上回るため、本郷小は、

特別教室を普通教室に改造する他にコミュニティハウスの移転についても検討しないと受入はできないのではないかと思います。統合実施時期については、児童数の減少傾向をみながら検討することになっているが、本郷小への学区変更があればその時期は早まるでしょう。ただ、18年4月実施は物理的に無理でしょう。逆に学区変更しないとすれば、減少も緩やかになってくるでしょう。いずれにしろ学区変更という流動的な部分があるので実施時期は明確にできません。（事務局）

- ・コミュニティハウスの問題があるようだが、学校は児童・生徒の教育施設であることをはっきりさせた方がよいと思う。
- ・本郷小がこの検討委員会に参加することはあるのか。
- ・この検討委員会の性質上考えていないが、本郷小については教育委員会で今後必要な調整はしていきます。（事務局）

公田小から本郷小への通学区域の変更については、教育委員会の調整を待って継続して検討していくことになりました。

3 跡施設の活用について

- ・検討委員会では跡施設の要望を出していただきたい。その活用については、検討委員会終了後に地域のご意見を改めてお聞きしながら、全庁的に検討していくことになると思います。（事務局）
- ・教育委員会への意見書には、参考意見として載せることになると思う。（委員長）

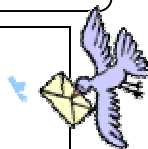
検討委員会に出されている跡施設全般に関する要望

第6回検討委員会終了後に出された要望も追加で載せました。

要望団体	内 容
矢沢小PTA	スポーツ施設（駐車場付き）、文化施設（図書館・児童館）
犬山小PTA	地域コミュニティセンター、スポーツ公園、多目的広場、フリーマーケット場、プール開放、ゲートボール場、老人福祉施設（ホーム・デイケア）、図書館、図書室を残して開放、保育園、作業所（障害者・老人）、コンサート場、企業貸出
湘南桂台 自治会	スポーツジム、災害時避難場所（トイレ、段差、空調の改修） 自治会・福祉グループの利用施設、卒業生の思い出のスペース
上郷南小PTA	スポーツ施設、図書館、子どものための施設、老人福祉施設、地区センター 災害避難場所、地域コミュニティセンター、インターナショナルスクール
西ヶ谷ハイ 自治会	災害避難場所、地域コミュニティセンター
ライオンズ マンション	スポーツチーム（子ども）、工作室（日曜大工等）、スポーツ施設、 地域コミュニティセンター
桂台小PTA	地域集会所、老人福祉施設（ホーム・介護）、公園、市民グラウンド、 スポーツクラブ、養護学校、プール開放、図書館、災害時避難場所、 未就学児プレイルーム

今回の検討委員会は、再編校別第2回小委員会終了後に開催します。

栄区小規模校再編検討委員会の経過・横浜市の基本方針等は
ホームページでもご覧いただけます。



- * 横浜市教育委員会HP
- ・基本方針等：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・栄区小規模校再編検討委員会：
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

栄区小規模校再編検討委員会では、常に皆様からのご意見をいただいております。FAXかEメールにて事務局までご連絡ください。

栄区小規模校再編検討委員会事務局
（横浜市教育委員会事務局学校計画課）

TEL 671-3253
FAX 651-1417
Eメール ky-sakae@city.yokohama.jp